

インターフェイスユニット

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 配線および埋設管は、電気錠変換ボックス～通電金具間を除き現場で手配してください。
- 埋設管にはPF管を使用してください。
- 地中電線路の配管には、将来掘り起こすことが無い場所を選んでください。
- ドアホン本体の施工は、ドアホンに付属の取付説明書を参照してください。

<施工上のご注意>


警告

- 器具を分解・改造したり、部品の交換をしないでください。火災・感電・落下によるケガの原因になります。
- ガス機器やその排気筒などの温度が高くなるものの近くには取付けないでください。火災の原因になります。
- この製品は防雨型壁面取付け専用です。以下の場所には絶対に取付けないでください。火災・感電・落下によるケガの原因になります。
 - ・補強のない薄い場所
 - ・本体パッキンより小さい取付面
 - ・傾斜した場所
 - ・据置き
 - ・天井面
 - ・浴室などの湿気の多い場所
- 水抜き穴をふさがらないでください。感電の原因になります。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
詳しい内容については、電気錠操作ユニットの説明書を参照してください。
- 配管内に水が侵入しないように、パテ等でふさいでください。
- 付属のボックス固定用ネジは、木ネジを同梱しています。取付ける相手側にあわせて、十分な固定強度を確保できるネジを別途現場で準備・交換してください。

<電気配線工事について>

⚠ 注意

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。
- AC100V電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 落雷時の器具破損、誤作動防止のため、家屋～通電金具間は架空配線をせずに地中配線をしてください。
- 門内解錠押ボタンスイッチ、家屋から電気錠変換ユニットまでの配線および増設する門内解錠押ボタンスイッチへの配線は、100Vおよび200Vの配線と接近して平行または交差しないでください。平行に配線する場合は、500mm以上離してください。また、埋込配線の部分は、100Vおよび200V電源とは別配管にしてください。
- 配管距離が長い場合、また曲がり角が2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けてください。
- ハンドホール内で電線の接続は行なわないでください。
- スリーブの固定（電線の接続）は、必ず専用の工具でカシメてください。
- 電気錠信号用の配線、および門内解錠押ボタンスイッチの配線は、0.5mm²以上の配線を使用してください。

■ 梱包明細表

【1】 インターフェイスユニット

名 称	略 図	員 数
インターフェイスユニット本体		1
JEM-A端子接続コード (4芯200mm)		2
2線化変換アダプタ接続コード (8芯200mm)		1
解錠ボタン接続コード (3芯200mm)		1

【2】 スイッチボックスセット

名 称	略 図	員 数
1コ用スイッチボックスセット 通電金具用		1
1コ用スイッチボックスセット 防滴プレート用		1
防滴プレート		1

【1】 インターフェイスユニット (つづき)

名 称	略 図	員 数
ボックス		1
スライドボックス		1
【1-1】 $\phi 4.1 \times 16$ 木ネジ		6
【1-2】 $\phi 4 \times 40$ サラタップネジ ※1		6
【1-3】 $\phi 4 \times 25$ サラ小ネジ ※2		6
取付説明書〈A470〉	—	1

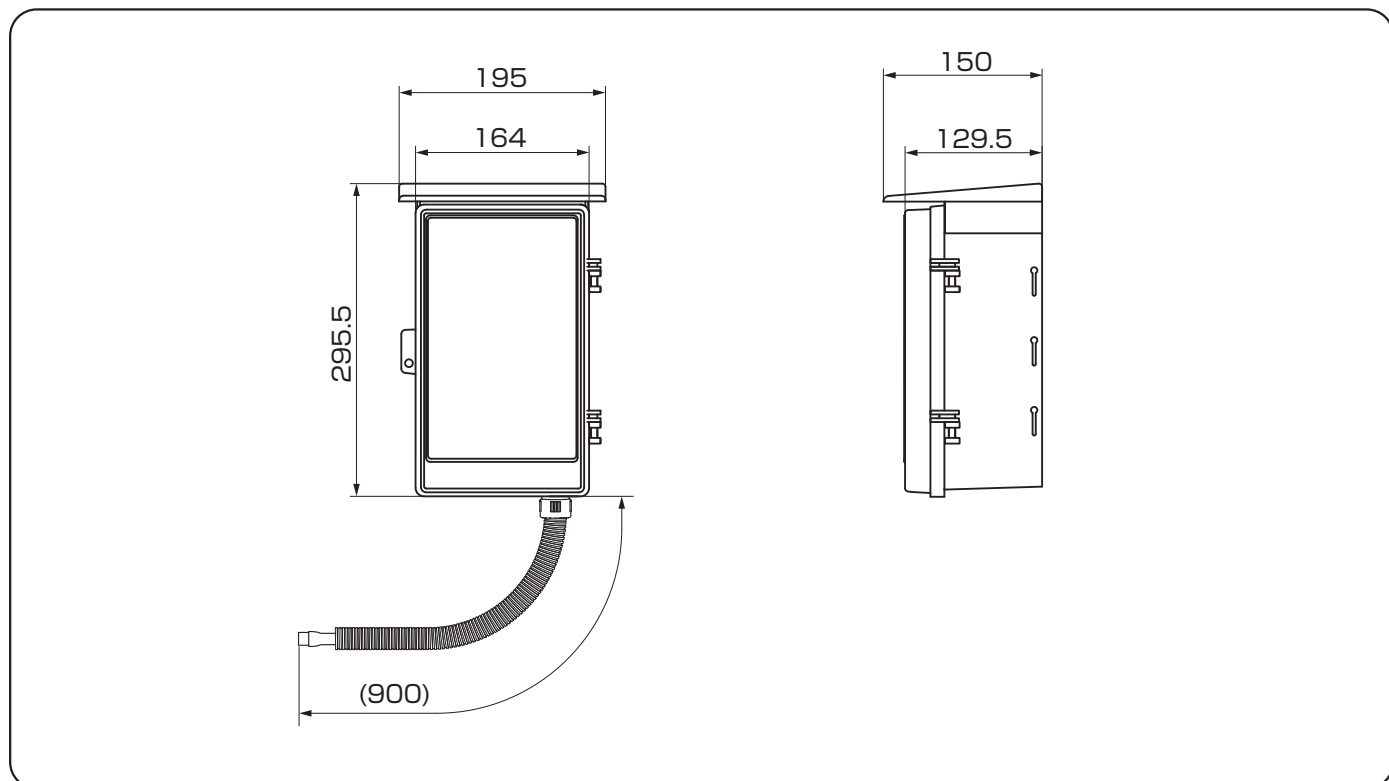
※1 スライドボックス内に同梱しています。

※2 本施工では使用しません。

【2】 スイッチボックスセット (つづき)

名 称	略 図	員 数
門内解錠押ボタンスイッチ		1
【2-1】 スリーブ		4

1. 基本寸法



2. システムイメージ

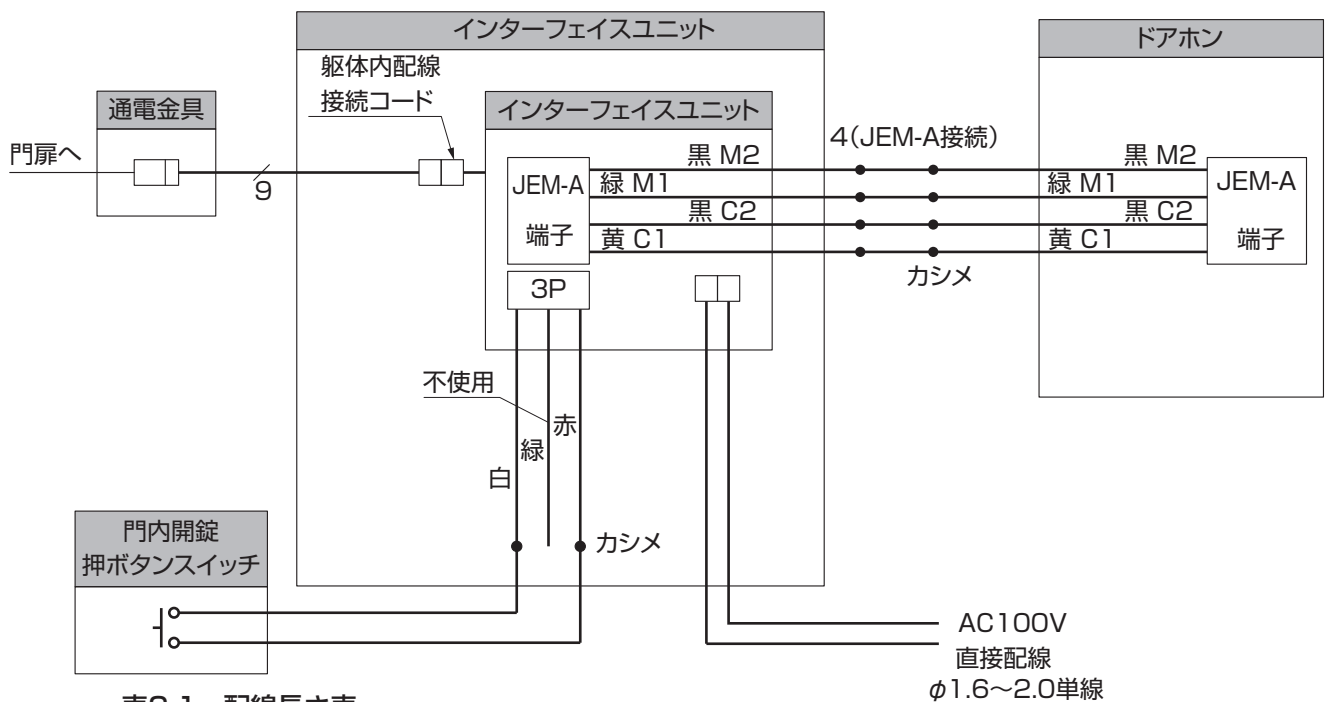
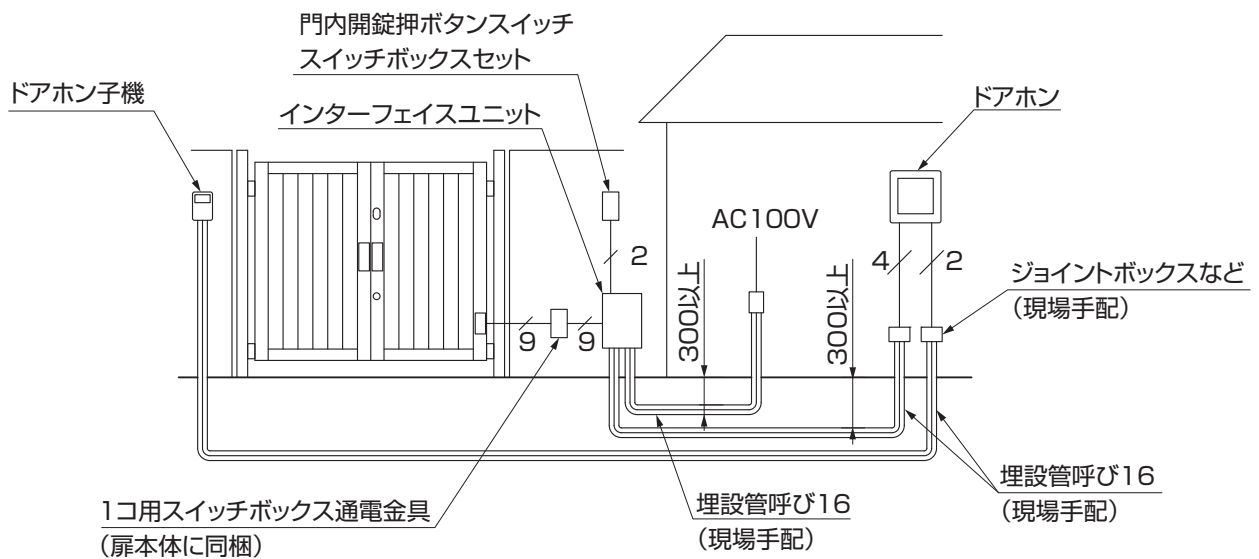


表2-1 配線長さ表

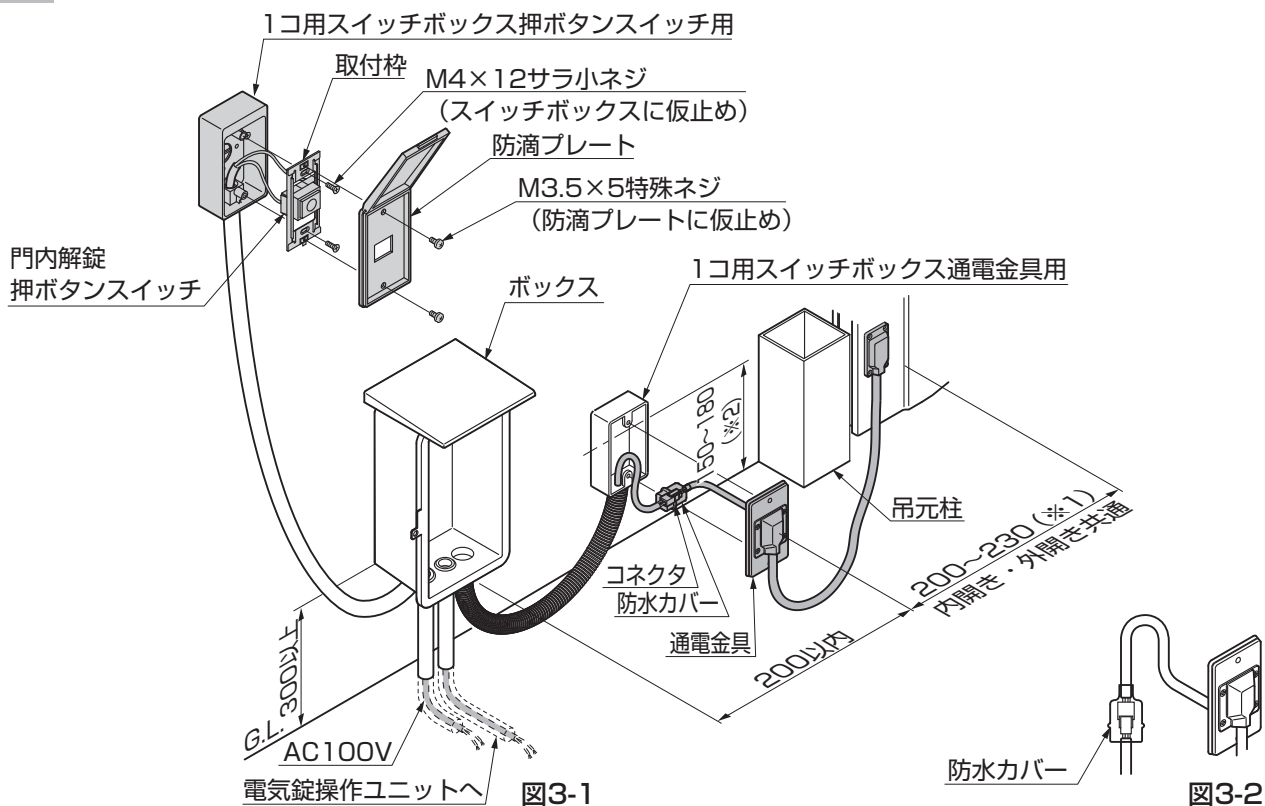
配線区間	使用電線	φ0.9または0.75mm ²
ドアホン～ インターフェイスユニット		40m以下
インターフェイスユニット～ 門内解錠押ボタンスイッチ		10m以下

ポイント

- 各配線の長さは表2-1を参照してください。
- 不使用の配線は絶縁処理をしてください。
- ドアホン本体の施工は、ドアホンに付属の取付説明書を参照してください。

3. 配置接続図

1-1 ボックス・押ボタンスイッチの取付け



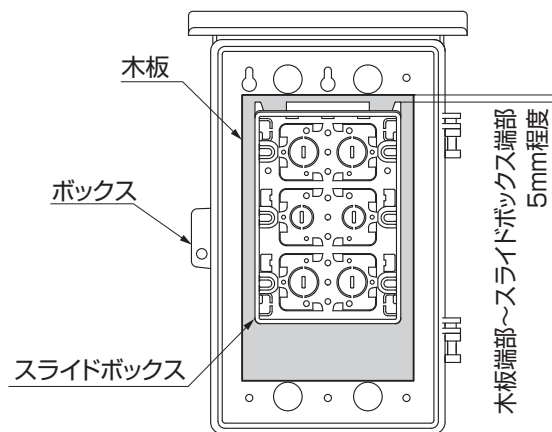
①ボックスのふたを開け、図3-1の寸法を参考にして取付けてください。

ポイント

●高級鋳物タッチ&ノータッチキー門扉は図3-1の(※1)部を270~290、(※2)部を170~200で取付けてください。

- ② 1コ用スイッチボックス通電金具用の下側からボックスの配線を引込んでください。
- ③ 通電金具のコネクタとボックスの配線コネクタを接続してください。
- ④ 通電金具を1コ用スイッチボックス通電金具用に取り付けてください。
- ⑤ 1コ用スイッチボックス押ボタンスイッチ用を図3-1を参考に取付けてください。

1-2 スライドボックスの取付け



①ボックス内に、スライドボックスを【1-1】で取付けてください。(図3-3参照)

3. (つづき)

1-3 配線接続

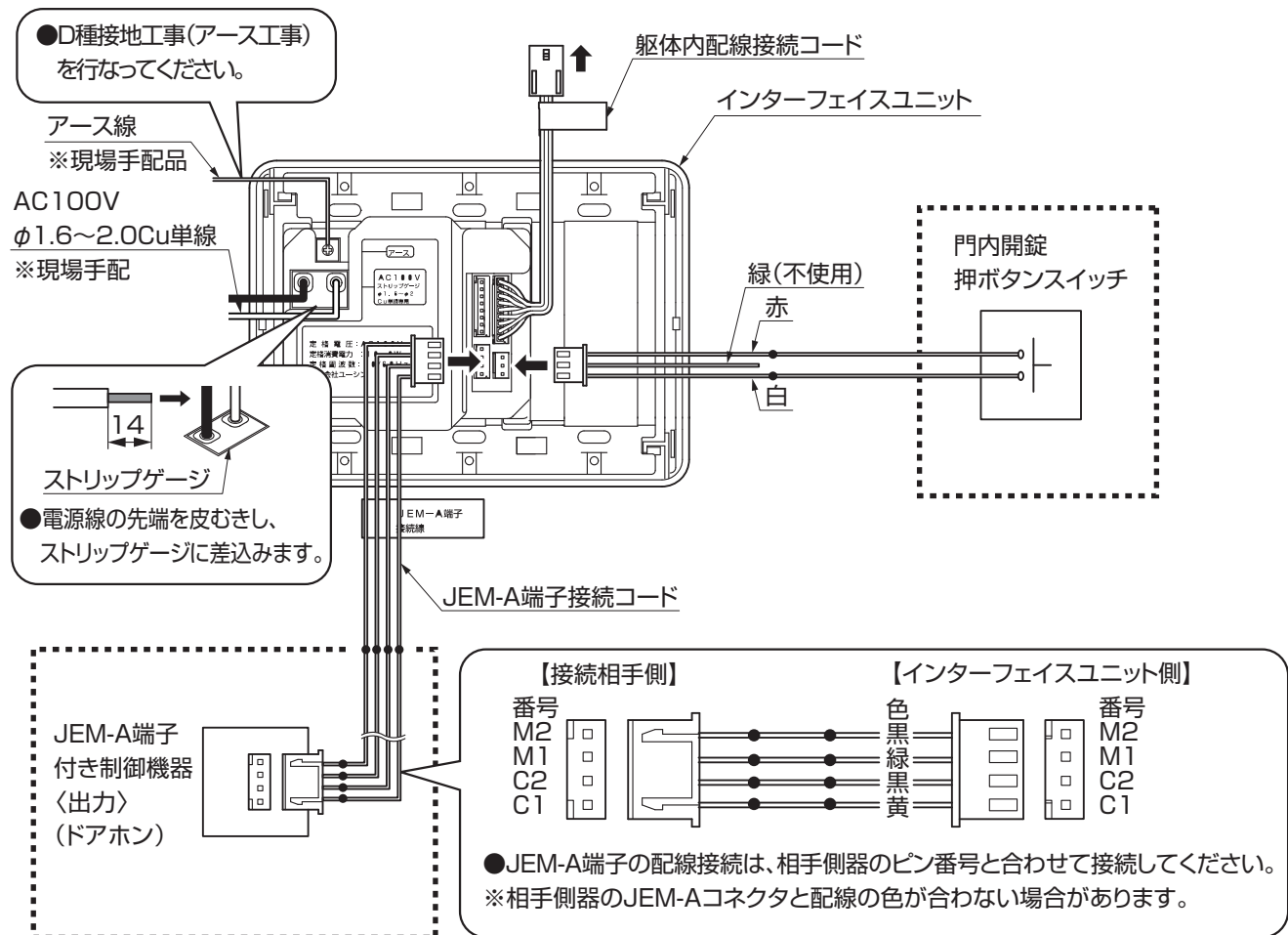


図3-4

①インターフェイスユニット本体に電源配線・アース工事及びドアホン接続を行なってください。(図3-4参照)

ポイント

●アース(D種接地)工事は必ず実施してください。落雷などの過電圧で機器が破損したり、外部および機器間のノイズにより誤作動の原因となります。

②1コ用スイッチボックス通電金具用の下側からインターフェイスユニット本体に、JEMA-A接続コード、解錠ボタン接続コードを取付け、電線を接続してください。(図3-4参照)

補足

●JEMA-A端子接続コードは、インターフェイスユニット側用：1本、ドアホン側用：1本の合計2本です。
●接続コードを延長する電線は別途手配して使用してください。(最大40m 表2-1参照)

③インターフェイスユニットの躯体内配線接続コードと配線コネクタを接続してください。

④インターフェイスユニット本体を【1-2】でスライドボックスに取付けてください。

⑤ボックスのふたを閉めてください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



株式会社 LIXIL

取説コード

A470

JZZ616311B
200803A_1039
201111D_1039